

平成26年度第2回尾張旭市立小中学校通学区域審議会 会議録

- 1 開催日時
平成26年8月12日(火)
開会 午後 10時00分
閉会 午後 10時25分
- 2 開催場所
市役所2階 201会議室
- 3 出席委員
会長 青木 光枝
副会長 岡田 龍二
委員 小杉 夏志登
委員 山田 俊樹
委員 濱地 香理
委員 安田 和香
委員 山本 真依子
委員 安藤 暁子
委員 塚本 榮
委員 瀬瀬 陽次
委員 森前 陽
委員 松原 裕子 13名
- 4 欠席委員
委員 大竹 良寿
- 5 参考人
坂野 郁夫(旭中学校)
- 6 傍聴者数
0名
- 7 出席した事務局職員
教育長 玉置 基
教育部長 長江 建二
教育行政課長 河村 晋
教育行政課長補佐 田島 祥三
教育行政課主査 小椋 和加子
- 8 議題等
教育委員会への答申について

9 会議の要旨

会 長	<p>定刻になりましたので、ただいまから、第2回尾張旭市立小中学校通学区審議会を開催いたします。今回は皆様に真剣な審議をしていただきありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の1、あいさつをさせていただきます。</p> <p>外国人の子どもが日本の学校に通う際、日本語の授業についていけないことがあり、勉強を教えるボランティアをしています。担当する子が今年中学校に入学しました。小さいころからサッカー好きだったので、サッカー部に入るのかと尋ねると、テニス部との答えが返ってきました。この学校にはサッカー部が無いとのことで、通学区域を見ると、小学校が1校、中学校が1校で成り立っており、小学校6年生が卒業してそのまま中学校へ入る小さな規模で、一年生も26、7人で、部活も4つしかないとのことでした。話を聞いていると、部活の数も少なく、人間関係も狭くなり、気の毒だと思いました。小学校6年生からこの中学校に入学した人数は8名減っており、ほかの中学校へ行ったということで、つまり自分の通学区域でない中学校を選んでいた、ということです。いろいろな理由があって、ほかの学校へ行ったのですが、もし8名が本来の通学区域のこの学校に入学してくれていたなら、35人を超えていたので、2クラスになっていただろうなどと、いろいろ思うのですが、ボランティアで担当している彼と話をしていると、彼にとって、この学校に関し一つも悪いところが無いのです。学校は楽しく、先輩やクラスメイト皆と仲が良く、先生もいろいろなことを教えてくれる。彼を取り巻く大人たち、学校の先生はもちろんのこと、地域や保護者のかた達がみな、あなたはとてもいい学校に通っているのだよと、話をしながら毎日生活をしているのではないかと思います。</p> <p>今回通学区域を決めることにおいても、子どもたちにとって最良のものになるように話し合いをしましょうということで、進めてまいりましたが、机上では最良のものになったのではないかと思います。ただ、ど</p>
-----	---

	<p>んな通学区域にも、必ずマイナス面とプラス面とがあるということが、前回の審議会で浮き彫りになりました。周りの大人たちがマイナス面や課題を踏まえ、「課題を超える、こんないいところがある」と地域で子どもたちに伝えながら、子どもたちと共に生活していけば、子どもたちにとって、とても良い通学区域となると思います。私たちは、この審議会で通学区域を決定するだけでなく、通学区域のことをいろいろ知って、この区域で暮らす子どもたちにとって良い通学区域だと思える環境を整えていく、そういうことができるお立場におられる方々がここにおみえになっていると思いますので、この話し合いの結果がさらに発展していくと良いなと思います。</p> <p>それでは、議事を進めたいと思います。次第2、教育委員会への答申について、事務局からお願いします。</p>
教育行政課長補佐	(答申書案に沿って説明)
会 長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問等ありますか。
山 田 委 員	旭小学校の変更部分については、前回の審議会では触れられていなかったと思います。この点、ご説明をお願いします。
教育行政課長補佐	旭小学校については、今回の町名設定の区域には入っておりません。城前町上大道は、現在旭小学校と城山小学校にかかっております。城山小学校区域の城前町上大道は、今回の町名設定により上大道ではなくなる、ということです。その結果、城前町上大道は、今後旭小学校区だけにある町名、ということになります。
会 長	そのほかございませんでしょうか。
塚 本 委 員	答申書において、改正前と改正後とありますが、校区割が基本なのか地域割が基本なのか、お聞きしたい。
教育行政課長補佐	この改正前改正後の内容については、学校区の設定となります。今現在の校区の分け方と同様に、町名設定後の字名で校区割を決めた、というものです。
会 長	そのほかはよろしいでしょうか。

	<p>それでは、今までの通学区域を活かしてそのまま新しい字に変えるという、この案により答申としてよろしいでしょうか。</p>
	<p>(異議なしの声)</p>
会 長	<p>それでは、この案で、答申としたいと思います。</p>
	<p>答申の方法について、事務局から説明をお願いします。</p>
教育行政課長	<p>ただいま決定しました答申書を、尾張旭市立小中学校通学区域審議会会長様から教育委員会へお渡ししたいと思えます。なお今後の日程等についてご説明申し上げます。7月24日教育委員会において、この審議会へ諮問を受けました。その後、8月5日、8月12日と審議会を行い、この後、答申書を教育委員会へお渡しいただくということになります。答申を受けた後ですが、事務局で規則改正事務に入ります。それを受け、9月に開催される教育委員会に議案として提出したいと考えております。なお、教育委員会で規則改正案が承認された後、今回の審議会の結果通りのかたちの通学区域が、新たな換地処分後に有効になる、という運びでございます。</p>
	<p>それでは、答申書をお渡ししたいと思います。</p>
	<p>(会長から教育長へ答申の手渡し)</p>
会 長	<p>ただ今、尾張旭市教育委員会に審議会を代表して答申を行わせていただきました。教育長から、一言お願いします。</p>
教 育 長	<p>ただいま会長から、答申書をいただきました。ご審議いただきありがとうございます。ありがとうございました。</p>
	<p>学校という場は、子どもたちのためだけではなく、地域の生活の場であり、コミュニティの場でもあるということで、地域にとっては大切な場です。子どもたちは学校でいろんなことを学んでいく中で、当然ながらさまざまな壁や課題があります。順調に成長していくことを望むわけですが、子どもたちがさまざまな壁を乗り越えていくには、学校だけでなく、地域のみなさまや保護者のみなさまといったいろいろな方々のお力添えが必要だと思えます。今回通学区域を新たに設定します</p>

	<p>が、こういったことをしっかり踏まえて、学校も教育委員会も、新たな教育に足を進めていきたいと思っております。</p>
	<p>今回の町名変更についてはいろいろなかたとコミュニケーションをとりながら決めてきたところがございますが、地元のかたたちにとって、町名や字名を聞くと、だいたいの位置がぱっとわかると思いますが、何町何丁目といったとき、一丁目がどこなのか、すぐにはピンとこない、ずっと生活していてもなかなかイメージがわからないこともあるかと思えます。一方で、尾張旭に新しく転入してこられるかた、あるいは市内を散策してみえるようなかたは、一丁目、二丁目という並びは見当がつきやすいというメリットがあります。今回の町名変更については、通学区とは別に、さまざまな思いがあると思えます。地元の良きものを大事にするといった意味合いと、新しいかたにとってわかりやすく生活ができるという側面も必要であり、その中での町名設定だったかと思えます。ただ、教育委員会としましては、地域の伝統や、この地域が昔どうだったのかということをおぼえてはいけない、ということがありますので、いろいろな場面で話題にし、おぼえないようにしていきたいと考えております。</p>
	<p>8月5日に、私と西中学校長は、この審議会を欠席いたしました。中学生を海外研修でオーストラリアへ引率してきたところです。子どもたちにとって、ひとり違う家庭でホームステイすることについては、非常に大きな壁であったと思えます。6日間、引率である私たちとも離れ、日本語から離れて過ごした彼らの成長の度合いはすごいものがあります。始めは単語で会話をしていた子どもたちが、文章で話すまでになっておりました。わずかな期間ではありましたが、かなり厳しい状況におかれた結果、確実に子どもたち自身が高まっていったのだと感じました。私たち大人は、ともすると手を差し伸べ過ぎてしまい、子どもたちにとって環境がとても良いことが多いと思えます。ですから、子どもたちにはもう少し負荷をかけながら育てていくことも必要ではないかと思</p>

